

# 成人看護学実習

[実習] 第4学年 前期 必修 4単位

《履修上の留意事項》成人看護学実習は、成人看護学実習（4単位）と成人看護学実習（4単位）により構成される。成人看護学実習を履修した上で実習を履修することを原則とする。

遠隔授業のみを実施  
遠隔授業実施にあたってGoogle classroomとMeetを使用する

《担当者名》 神田 直樹 唐津 ふさ 熊谷 歌織 高木 由希 伊藤 加奈子 高橋 啓太 前川 真湖 清水 博美  
秋野 愛菜

## 【概要】

実践的な実習体験をするために、看護チームの一員として複数の患者を受け持ち、看護の役割機能ならびにチーム医療について実践的に学ぶ。

## 【学習目標】

1. 複数の対象者それぞれのニーズに応じた、個別性、優先性を考慮した看護援助を実施できる。
2. 看護の調整的役割について理解し実施できる。
3. チーム医療における看護師の役割を理解できる。
4. 専門職業人としての自己の課題を明らかにできる。

## 【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
第1週	看護チームの一員としての看護実践	1. 優先性・個別性を考慮した看護計画を立案し、それに基づいたケアを提供する  (紙上事例を用いたオンライン学習)	神田・唐津・熊谷・高木・伊藤・高橋・前川・清水・秋野
第2週	継続看護・社会資源の理解	1. 看護チームの一員として、チームの機能、メンバーの役割について事例を通して考察する  (紙上事例を用いたオンライン学習)	神田・唐津・熊谷・高木・伊藤・高橋・前川・清水・秋野
第3週	看護実践のための疾患理解	1. 疾患と特徴的な看護について概説できる (オンライン学習)	神田・唐津・熊谷・高木・伊藤・高橋・前川・清水・秋野
第4週	実習のまとめ	1. コロナウイルス感染に関連する倫理問題についてのワークショップを通し、医療者としての責務を考察する 2. 4週間の振り返りを行う事を通して自己の課題を明確にする (オンライングループワークとワークショップ・報告会)	神田・唐津・熊谷・高木・伊藤・高橋・前川・清水・秋野

## 【評価方法】

実習終了時に以下の学習課題に基づいて評価し、単位を認定する。

課題学習：多重課題ワークシート（25%）、退院調整ワークシート（20%）、倫理ワークショップレポート（20%）、状況設定オンライン試験（25%）、その他（10%）

## 【備考】

参考書：実習内容や学習状況に合わせて提示する。

## 【学習の準備】

1. これまでの履修科目で使用したテキスト・資料等を整理し、復習しておく。また、基本的な看護技術についても復習し、身につけておく。
2. これまでに履修したすべての実習を振り返り、実習における自己の学習課題を明確にしておく。

## 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4,1,2,3

**【実習方法】**

1．実習期間：下記の期間の指定された4週間

1 5月 11日～6月5日

2 6月29日～7月22日

2．実習への参加：オンライン実習のため、指定されたサイトにアクセスし参加すること。

**【実務経験】**

神田 直樹(看護師) 唐津 ふさ(看護師) 熊谷 歌織(看護師) 高木 由希(看護師) 伊藤 加奈子(看護師) 高橋 啓太(看護師)  
前川 真湖(看護師) 清水 博美 (看護師) 秋野 愛菜 (看護師)

**【実務経験を活かした教育内容】**

看護師としての実務経験から、看護チームの一員として個別性・優先制を考慮しながら実施する看護援助について助言・指導を行なう。また、看護実践の場においての多職種連携の学びを深められるように助言・指導を行なう。